



2026年5月14日

各位

会社名 株式会社中村超硬
代表者名 代表取締役社長 井上 誠
(コード番号：6166 東証グロース市場)
問合せ先 取締役管理本部長 田植 啓之
(TEL. 072-274-0007)

2026年3月期の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2025年5月12日に公表しました2026年3月期の業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期業績予想と実績値との差異

2026年3月期連結業績予想と実績値との差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,000	35	55	10	0.91
今回実績 (B)	2,768	△163	△137	276	25.07
増減額 (B - A)	△231	△198	△192	266	
増減率 (%)	△7.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	2,640	7	△21	△32	△2.98

2. 差異の理由

2026年3月期の連結業績については、化学繊維用紡糸ノズル事業においては炭素繊維用ノズル、不織布用ノズルが堅調に推移しましたが、特殊精密機器事業においては米国向け自動車関税の引き上げや中国経済停滞の影響を受け、電子部品業界向け、ベアリング業界向けや自動車部品メーカー向けの販売が共に低調に推移しました。また、D-Next事業においては、半導体・パワー半導体の市況低迷により、ダイヤモンドワイヤ販売が低調に推移しました。

これらの結果、連結売上高は2,768百万円と前回予想値を7.7%下回り、営業損失は163百万円となり前回予想値から縮小する結果となりました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、江蘇三超社との国際仲裁における仲裁判断（中間判断）に基づき、受領済契約対価の収益未計上部分及び江蘇三超社に支払いが命じられた輸送費等を特別利益に計上したことと、日本ノズル株式会社の全株式売却により得られた売却益を特別利益に計上したことにより、276百万円となり前回予想値を上回る結果となりました。

以上